

令和6年度第2回厚木市健康食育推進協議会（書面会議結果報告）

（1）（仮称）厚木市健康づくり推進条例の制定について

意見
・学齢期のこども達の歯科保健の現状はコロナ禍を経て少し悪化していると感じる。乳幼児の歯科保健に力を入れているため、学齢期にも良い状況が続いていることから歯と口腔に関しても健康推進条例に位置づけられることは良い。 ・健康は食や運動とともに、歯の健康も大切であり、そのことを市民の皆様に認識してもらうことは重要であり、あらゆる世代に伝えることは健康寿命の延伸に繋がると思う。 ・健康は心身が健やかであることであり、歯科保健だけでなく健康全般に関する条例の制定に賛成である。 ・条例の制定により、健康づくりの実践的な活動が、ラジオ体操のような取組になれば良いと思う。 ・コロナ後の生活の変化（精神的、コミュニケーション、行動の変化等）、オーラルフレイル、摂食嚥下、障がい者の対応等を踏まえてほしい。 ・健康全般に関する条例制定に賛成である。 ・自治体が総合的な健康づくりに関する推進条例を制定することは必要である。より実効性を高めるものにするには、各年代によっても内容が異なることから、広範囲かつ十分な議論が必要である。 ・こどもから高齢者まですべての市民を対象として包括的に健康づくりを推進することは大変意義があると思う。スローガンは、実効性を伴う内容にしていく必要がある。

(2) 次期健康食育あつぎプラン策定に係る市民アンケート調査実施について

意見
・市民アンケートはオンラインによる回答が効率的であるため賛成である。 ・市民の皆様の健康に関しての考えがわかる質問だとよい。 ・前回の回答率が思っていたより高いと感じたが、それだけ市民の皆様は健康に関心があるのではないかと。 ・オーラルフレイル、摂食嚥下、地産地消が地域振興やカーボンニュートラルに繋がることへの認知度を把握する設問等。 ・前回アンケートのような多方面からの内容にして、市民の皆様の実態を把握できるアンケート調査を実施してほしい。 ・アンケート調査に「予防接種について（予防接種を受けることは任意）どのような予防接種を受けられるか知っていますか。」「健康に関する情報をどこで入手しているか（インターネット、テレビ、新聞、広報、口コミ等）」の項目を追加すると良いと思う。 ・新しい取組を予定している場合は、その内容に合わせた質問があると良いと思う。 ・前回調査の回答率が36%と低いため、郵送だけではなくQRコードから回答できると良いのではないかと。

(3) その他

意見
・プラン作成については、社会情勢の変化を十分織り込み、将来を見据えて先取りしたものにする必要があり、コストパフォーマンス等を意識することも重要課題と考える。優先順位をつけて柔軟な取組とすべきではないかと。